

2011/06/08 「就業力育成支援事業 近畿地域会議」

6月8日、キャンパスプラザ京都において、大学生の就業力育成支援事業採択校のうち、近畿地区34大学が集い「就業力育成支援事業近畿地域会議」を開催した。この会議は、就業力育成支援事業を実施している各大学が抱えている課題や問題点について、議論ならびに意見交換を行うことを通じて、関係者の情報共有を図るとともに、事業実施効果の向上につなげることを目的として行われた。

参加者は同事業近畿地区選定校に加え、事業委員会委員の荻上紘一氏、見館好隆氏、文部科学省より能見正氏、経済産業省より石川紘次氏を迎え、「就業力育成支援事業を取り巻く動向等について」、「経済産業省の産学協働教育の取り組みについて」の説明を拝聴した。また、取組事例報告として、京都産業大学「専門教育と協働したコーオプ教育の全学展開」と奈良女子大学「女性の生活様式を考慮したキャリア教育」について、その進捗状況を説明した。

後半は分科会A・Bに分かれ、各大学の取り組み状況報告を行い、その後、事前に各大学より集めた討論要望事項について活発に意見が交換された。「円滑な事業推進に向けた学内協力体制の確保」や「実施成果をどう測定するのか」等のテーマにおいて、事業委員の意見も交えながら、議論が行われた。

多くの大学が抱える共通の課題を共有・再認識する過程で新たな発見もあり、今後、課題解決に向け、全大学で取り組んでいく協力体制作りとして、有意義な場となった。



分科会にて、討論を行う参加者